図書館だより

市立図書館

健康文庫・家庭文庫展示

市立図書館では、県立図書館より健康文庫（病気、医療）・家庭文庫（育児、基本的なマナー、花作り等）１２９冊をお借りして、９月30日（日）まで展示しています。

健康や育児に関心がある方は、この機会に市立図書館でご覧ください。

【健康文庫】
☆よくわかる最新医学
▽肝臓病　▽中性脂肪とコレステロール　▽アルツハイマー病・認知症　▽パーキンソン病　など
☆健康百科
▽アトピー性皮膚炎　▽大腸がん　▽骨粗鬆症　▽男と女の更年期　▽うつ・不眠　など

【家庭文庫】
▽赤ちゃん・子ども病気百科　▽０～６歳のしつけ百科　▽やせる！裏ワザ知得メモ　▽はじめての絵手紙　▽はじめての家づくり基本レッスン　▽快適なリフォーム＆模様がえ　▽節約の裏ワザ知得メモ　▽基本の中華レシピ　▽はじめての野菜づくり　▽色がわかる四季の花図鑑　など

ベストリーダ（良く読まれた本）

※５月１日～７月31日

【一般図書】
１位＝今夜は心だけだいて（唯川恵／著）
２位＝恋せども、愛せども（唯川恵／著）
３位＝背広の下の衝動（新堂冬樹／著）
４位＝名もなき毒（宮部みゆき／著）
５位＝刑事の墓場（首藤瓜於／著）

【児童図書】
１位＝死神レストラン（たかいよしかず／絵）
２位＝かいけつぞろりシリーズ（原ゆたか／作・絵）
３位＝よもぎだんご（さとうわきこ／作）
４位＝生物（植物昆虫動物）がよくわかる
５位＝ばばばあちゃんのなぞなぞりょうりえほん（さとうわきこ／作）

おすすめの１冊

ハル　哲学する犬
（作：クォン・デウォン）

詩を読むもよし、やさしい絵を見るもよし。題名に「哲学」とあっても、それは日常の中にある心の持ち方をわかりやすく書いてあるだけ。小さな本の中に、無限の世界が広がっている。心がほっとする１冊だ。　萌さん（物部町）

吉井勇記念館よりお知らせ

山峡のタベ　―月とヴァイオリン―

満月の夜に、韮生の山峡に建つ記念館を訪れてみませんか。

当日は夜間特別開館をし、展示解説を行います。

また、古江佐和子氏による「ゴンドラの唄」をはじめとするヴァイオリンの演奏も予定しています。

吉井勇の過ごした静かな猪野々の夜を味わい、感じてください。

【日時】９月27日（木）
18時～20時
【場所】吉井勇記念館
【奏者】古江佐和子氏
（ウィンストンセーラム交響楽団、大阪シンフォニカーに所属。タチバナヴァイオリン教室、高知香南ジュニアオーケストラ講師。香北町猪野々在住）
【参加料】４００円（入館料含む）
※ヴァイオリン演奏会のみ参加希望の場合は２００円。

【送迎バス】定員18人
香美市役所発　17時20分
記念館発　20時10分
※バス利用希望の方は９月24日（月）までにご連絡ください。

楠瀬兵五郎先生　講演会

『第５回吉井勇顕彰短歌大会』の表彰式終了後に、今大会選者の楠瀬兵五郎先生による講演会（テーマ＝「現代短歌の悩み」）を開催します。

大会への作品投稿の有無に関わらず、どなたでもご参加できます。

※入場無料

楠瀬兵五郎　先生

【日時】10月８日（月）
14時30分～（予定）
【会場】吉井勇記念館

香美市立美術館

アートの窓

小作青史（おざくせいし）版画展

―木を使ったリトグラフの世界を切り拓く―

開催中～9月24日(月)まで

「木を使ったリトグラフ?」と誰もが聞き慣れない言葉だと思います。西欧から伝わった石版画（リトグラフ）の平版の技法を、日本の浮世絵などでご存じの木版（板）に応用し、世界初の木版リトグラフを考案した作家が小作青史です。

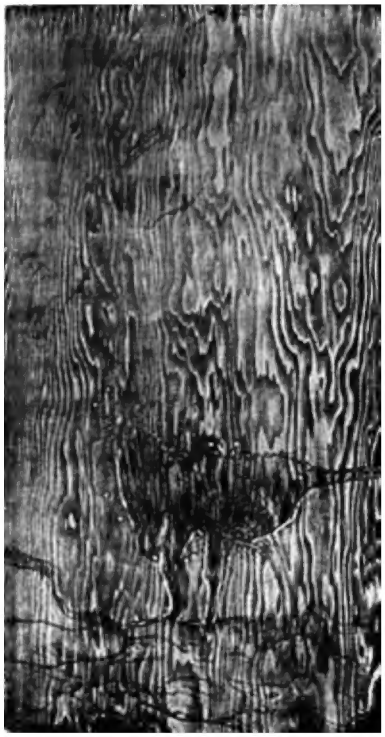
この新技法では、従来のリトグラフに比べて、版の大きさや版型が自由で、刷りも非常に簡単になりました。この技法の開発と普及の功績は、世界の版画界にとって大変大きいといえるでしょう。

一九三六年、東京生まれの小作青史は、東京芸術大学油画科で油彩画を学びますが、在学中に学内で開かれた石版講習会に参加したことが、その後の版画制作のきっかけとなります。卒業後、母校の版画研究室助手として勤務しながら、大阪フォルム画廊東京店で毎年個展を開催し、版画作品を発表していきます。

一九六八年には、第二回クラコウ国際版画ビエンナーレ展（ポーランド）ブロッラフ美術館賞受賞、第六回東京国際版画ビエンナーレ展出品など、国内外で活躍を続けます。一九七〇年からは多摩美術大学絵画科版画専攻科に勤務します。七九年～八〇年に文化庁在外研究員として、フランス、ドイツに留学した時、日本の版画を発展させたバレンの存在に気づき、帰国後、リトグラフ普及のためにプレス機の改良に着手したり、手刷りのための道具の考案も行いました。

写真の作品は、木目を生かした木版リトグラフの作品「かげろうから」です。彼独特の表現が、見る者をＯＺＡＫＵ（小作）ワールドに引き込みます。会場には、白・黒、カラーの作品五十四点が並んでいます。国際的評価の高い作品群をお見逃しなく。

（館長・北　泰子）



「かげろうから」小作青史

（雨天の場合は、猪野々地区公民館）

【講師】楠瀬兵五郎 先生（高知県歌人連盟会長。「高知アララギ」代表。「短歌21世紀」選者。高知県短詩型文学賞選者。高知県芸術祭文芸賞選者。香美市土佐山田町在住）

【送迎バス】

市役所香北支所前（旧香北町役場）より、送迎バスを運行します。

（往）11時30分、12時30分

（復）15時45分、16時40分

※バス利用希望の方は10月1日（月）までにご連絡ください。

【申込・問い合わせ先】

吉井勇記念館

☎58－2220

香美市立美術館　第13回企画展

『デハラユキノリ10年分回顧展　1997～2007』

【会期】9月29日（土）～11月4日（日）

●関連企画●

①オープニングパフォーマンス

『メンペＬＩＶＥ～ハレ～』デハラユキノリ×金子ナンペイ

【日時】9月29日（土）13時30分

※入場料が必要です。

（申込不要）

②デハラユキノリの実践粘土教室『あなたもフィギュア作家』

【日時】9月30日（日）13時～17時

【定員】先着20人（定員に達し次第締切）

【対象】子どもから大人まで（※参加費500円）

【申込・問い合わせ先】

市立美術館

☎53－5110